

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ
令和6年度 第11号 R6.12.24(火)



藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

期末懇談ありがとうございました。

寒い中、2学期末懇談にお越しいただき、ありがとうございました。インフルエンザの流行で、「生徒が体調不良の場合は保護者のみで二者懇談します」とお伝えしていましたが、担任の不調により副担任の懇談になった学級もありました。お子様の情報は学年で共有し、資料を基に懇談しておりますのでご安心ください。

3年生にとっては進路懇談でした。ほぼ全員が懇談までに希望校の見学や体験、説明会の参加を済ませ、最終決定することができました。

冬休みはご家族でゆったりと過ごされると思いますが、懇談の中で見つかった課題があれば、3学期に修正できるよう、もう一度ご家庭でも話し合っていたいただくと有り難いです。宜しくお願いいたします。

たくさんの生徒が表彰されました

特に作文の表彰が多かったです。文を書く力を認められ、とても嬉しいです。

作文表彰

- ・羽曳野・藤井寺保護司会「社会を明るくする運動作文コンテスト」
金賞 三年生
銀賞 三年生
- ・府法務局・府人権擁護委員会連合会主催人権作文コンテスト
会長賞 二年生
- ・ユースフル藤井寺「青少年健全育成作文」
優秀賞 二年生
- ・南河内納税貯蓄組合連合会「税の作文」
藤井寺市教育委員会賞 三年生
富田林納税協会賞 三年生
- ・読書感想文全国コンクール
大阪府 入選 三年生

校外でも頑張っています

- ・全日本U-15女子サッカー選手権大会
関西大会 準優勝
高円宮妃杯出場 二年生

同じ勉強をされていて、なぜ差がつくのか

賢い人に共通していることは、①語彙が豊富、②集中して人の話を聞く、③自らの意見を必ず語る、という点です。このような人は特別な存在と見られがちですが、実は「同じ授業を受けて、同じ勉強をしているのに差がつく」のには明確な理由があるのだそうです。

残念に感じたのは、「授業だけが学びの人はいずれ限界が来る」という点です。このタイプの人は、「両立」という言葉をよく使い、「気合い」「根性」「努力」が重要だと考えており、トップになれない自分を責めがちです。まさに私の学生時代と重なり、反省させられました。

本当に勉強ができる人は、他の人との会話やテレビ、ゲームを含めた日常生活の中で得られる情報すべてが学びになっています。このような「机上の勉強以外の学び」が圧倒的に多く、それが机上の勉強に応用されるため、より早く習得できるのだそうです。

普段の生活の中で「学ぶ」ためにはコツがあり、そのキーワードは「考える力」です。「考える力」とは、物事に疑問を持ち、その背景や理由を探り、自分なりの結論を導き出す能力のことです。「考える力」は年齢が上がり、経験を積むことで自然と身につきますが、飛躍的に伸ばすためには、さまざまなことに疑問を持ち、考えをまとめたり、具体的に広げたりすることが大切です。筆者曰く会話の中で「なんで?」「どう思う?」「どうしたらいい?」「要するにどういうこと?」「例えばどういうこと?」「楽しむにはどうすれば良い?」「何のため?」「そもそも、どういうこと?」「もし~ならどうなる?」「本当にそうだろうか?」などと問いかけ、考える機会を持つことが脳のスペックを向上させるのだそうです。これは是非試してみたいと思いました。

また、さまざまな場面で「人と違う意見を発言すること」が、「学び」を身につける要素である「気づく楽しさ」「知る楽しさ」「考える楽しさ」に結びつきます。グループディスカッションで異なる視点を共有することで、自分の考えが深まり、新たな発見につながる経験がある人も多いでしょう。他の人の意見を聞き、それに対して自分の立場を再確認する過程こそが「学び」なのです。

本校の学力向上の取り組みにも、何かしらのヒントが得られるような気がします。